



形のないものだからこそ、
こころの声は聞こえにくい。

子どものこころの発達・教育のために



1. 当センターの東日本大震災への対応

当センターは、平成23年4月1日の開設時より東日本大震災の被災地におけるこころのケア活動を継続しています。

2. 千葉大学こころのケアチームの構成

- ◆子どものこころの発達研究センター
- ◆千葉大学医学部附属病院
 - 精神神経科・こどものこころ診療部
 - 看護部
- ◆千葉大学社会精神保健教育研究センター

3. 岩手県一関市での支援活動

被害状況(9月1日現在)

人口	127,642人
全壊・半壊家屋	479世帯、1,345人
一部損壊家屋	2,813世帯、8,420人
市内への避難者	1,031世帯、2,454人

◆一関保健センターの支援

- 沿岸部や他の被災地域(福島県南相馬市など)から一関市内へ避難している被災者に対する、個別家庭訪問
- 保健師に対するこころのケア対応の研修会
- 一関市職員のメンタルヘルス

◆小中学校の児童や教職員への対応

- 現在のスクールカウンセラー配置校は、小学校2/37校、中学校13/18校であり、支援を必要とする

◆公民館や雇用促進住宅での健康相談・講演会など

3. 宮城県東松島市での支援活動

被害状況(8月1日現在)

人口	41,150人
死者	1,043人
行方不明者	106人
家屋全壊・半壊	2,133戸・4,160戸
避難所・人数	24か所・552人

◆避難所への巡回診療、精神疾患患者への個別訪問診療

◆東松島市矢本保健相談センターでの来所相談・診療

◆小中学校(小学校10校、中学校4校、合計で4,000人弱の児童)の児童・教員への訪問相談

◆地元保健師の精神保健活動計画策定に対するアドバイス

◆仮設住宅での健康相談会・講演会・リラクゼーション集団指導

活動地域と主な支援活動内容



地域	期間	派遣人数	活動内容
岩手県宮古市 ※国境なき医師団と連携	5/9～6/8 (終了)	臨床心理士3	避難所巡回、コンサルテーション
岩手県一関市 ※当センター単独で支援	8/5～現在 (長期派遣+定期派遣)	常駐臨床心理士2 +臨床心理士1 +精神科医1-2	個別訪問、相談業務、講演会など
宮城県東松島市 ※東大、名古屋大と連携	3/29～現在 (1-3回/月)	精神科医1-2 +(看護師1-2 or 臨床心理士1)	避難所巡回、学校訪問、相談業務、講演会など
千葉県海浜地区 ※旭中央病院、千葉県精神保健福祉センターと連携	4/4～現在 (随時派遣)	精神科医2-3 +臨床心理士2	避難所巡回、教育関係者らを対象とした講演会など

岩手県一関市の状況と支援活動



一関市内の建物被害



一関市保健師対象のこころのケア研修会

宮城県東松島市の状況と支援活動



津波による甚大な被害



避難生活を送る子ども達に、千葉大学医学部附属病院オリジナル絵本をプレゼントしました



仮設住宅住民に対する健康相談会とリラクゼーション法集団指導の様子



地元保健師と共に活動

今後のこころのケア活動の予定

- ◆岩手県一関市を重点的に支援し、行政の協力を得て調査活動を実施
- ◆宮城県東松島市(平成23年度内)、千葉県旭市(随時)を支援